

計算の仕方 2

消費税計算を行う前に必ず税率の設定を行って下さい。

例 題				操 作	表 示 窓
パーセント計算	・ 割合	1,000の25%は?		1'000 × 25 =	250.
	・ 割増	1,000の15%増は?		1'000 ÷ 15 =	1'150.
	・ 割引	1,000の4%引きは?		1'000 ÷ 4 =	960.
	・ 比率	50は500の何%?		50 ÷ 500 =	10.(%)
百分比計算	部門	売上金額	百分比	MRC MRC ON C-CE 580 ÷ 870 = 1'050 =	2'500 =
	A	580万円	23.2%	MRC MRC 580 = M+	M 23.2
	B	870万円	34.8	870 = M+	M 34.8
	C	1,050万円	42.0	1'050 = M+	M 42.
	合計	2,500万円	(100.0)	MRC	M 100
消費税計算	1. 税率の設定をして下さい(5%の場合)。			5 税率	税率%(点減) 5.
				税込	税率%(点灯) 5. (設定完了です。)
	2. 税込計算(5%の場合)。 例) 商品価格が1,500円のとき、商品価格に消費税を加えた価格とその税額。			1500 税込	税込 1' 575.
				税込	税額 75.
	3. 税抜計算(5%の場合)。 例) 支払い価格が1,050円のとき、支払い価格から消費税を引いた価格とその税額。			1050 税抜	税抜 1' 000.
				税抜	税額 50.
	4. 設定されている税率の確認。			税率	税率%(点減) 50.
				税抜	税率%(点灯) 5.

電池の交換について

ボタン型電池のパワーが減ってくると、特に暗い場所ですったとき、

- 表示が薄くて見にくくなる。
- オートパワーオフ(自動電源オフ)機能により表示が消えている場合、 キー を押しても表示が点灯しない。

このような場合には、電池を交換してください。最初の電池は、工場出荷時に組み込まれていますので、所定の使用時間(約1年)に満たないうちに寿命がきれることがあります。

ボタン型電池が消耗しますと、

- メモリーの中に入っていた数値が“0”になる。
- とくに暗い所で使用中に表示が薄くなる。
- 表示が消えている状態で キー を押しても表示が点灯しない。

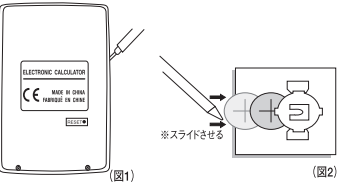
このような場合には、すみやかに電池を交換してください。

※計算機を正しく使用することができても、1年に1度は必ず電池を交換してください。

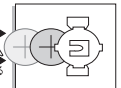
※ボタン型電池が消耗した状態で使用した場合、ソーラー電池に当たる光が遮断されると、メモリー内容が消えてしまいます。

裏ブタのはずし方について

- 本体の裏面の2個のネジを外します。
- 内部の電子部品に注意し、マイナスイバーなど、先の薄い物で裏ブタを上を持ち上げるようにして取り外します(図1)。
- 古い電池を取り出します。
- 新しい電池の表面を乾いた布でよく拭いたのち、十側を上にしてセットします(図2)。
- 上部のツメと内部の電子部品に注意して裏ブタを閉じ、ネジを締めます。
- キーを押して、電源を入れます。
- 念のため キーを押して、メモリー内容を消去します。



(図1)



(図2)

仕 様

機 種 名: **HC120TX**

計 算 機 能: 加減乗除計算、定数計算、パーセント計算、百分比計算、メモリー計算、消費税計算

メ モ リ ー: 3キー方式メモリー

表 示 内 容: M(メモリー)、-(マイナス)、E(エラー)、計算状態表示(+、-、X、÷、=)、税額、税率%、税込、税抜、整数部3桁区切り点表示つき

電 源: デュアルパワー方式

- ①ソーラー電池(内蔵)
- ②ボタン型電池(LR1130)1個

ボタン型電池寿命: LR1130で約1年

この電卓は、ソーラー電池とボタン型電池(LR1130)の2電源を使ったデュアルパワー方式を採用しています。使う場所の明るさに制限のあるソーラー電池のみの電卓とはちがひ、表示された内容が確認できる明るささえあれば使うことができます。

オートパワーオフ: 約6分
(自動電源オフ)

ムダな電力消費を防ぐため、操作完了後約6分程で自動的に電源がオフになります。計算機を再びご使用になるときには、電源オンキーを押すと電源がオンとなります。

保証規定

- 1.取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げ後1年間無料で修理または同等品と交換させていただきます。
- 2.保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - ①誤用、乱用および取り扱い不注意による故障
 - ②火災、地震、水害および盗難などの災害による故障
 - ③不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
 - ④使用中に生じたキズなどの外観上の変化
 - ⑤消耗品(電池など)および付属品の交換
 - ⑥電池の液漏れによる故障および損傷
 - ⑦保証書の提示がない場合および必要事項(お買い上げ日、販売店名など)の記入がない場合
- 3.保証書はこの取扱説明書に印刷されております。よくお読みのうえ、記入事項を確認して大切に保存ください。
- 4.保証書は日本国内においてのみ有効です。また保証書の再発行はいたしませんので大切に保管ください。※この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

修理およびアフターサービス

- 修理の必要が生じた場合は、商品に保証書を添えて、お買い上げ店またはおオーラお客様相談室へご相談ください。
- 修理ご依頼品をご送付される場合の送料料金および諸掛りはお客様のご負担となります。
※ご送付には適切な梱包の上、紛失などを防ぐため宅配便等をご利用ください。
- 修理依頼される前に、電源の状態および操作方法がまちがいないかよくお調べください。
- 修理内容などの記録は修理伝票にかえさせていただきます。
- 「修理のとき一部代替品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
- ご不明な点やご質問、お問い合わせなどは、オーラお客様相談室へご連絡ください。

オーラお客様相談室
03-3369-6174
午前9:00～12:00 午後1:00～6:00
(土・日・祝日・年末年始・夏季休暇等は除く)

オーラジャパン株式会社
ホームページ: <http://www.aurora-japan.co.jp>

保 証 書	
商 品 名	携帯型電卓
機 種 名	HC120TX
保証期間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ	年 月 日
お 客 様	お名前
	ご住所
	お電話
販 売 店	店名
	住所
	電話
ご販売店様へ 必ず記入・捺印してお客様にお渡しください。	

携帯型電卓

HC120TX
12桁

取扱説明書 (保証書付き)

このたびは携帯型電卓をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書（保証書付き）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書は必ず大切に保存してください。

安全上のご注意

⚠ 警告

この警告に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠ 注意

この注意に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的傷害を負う可能性があることを示します。

警 告

- 電池について
以下のことは必ずお守りください。
 - ・加熱したり火中に投入しないでください。
 - ・分解、改造をしないでください。
 - ・ショートをさせないでください。
 - ・充電をしないでください。
- ボタン型電池について
 - ・ボタン型電池は、特に幼児の手の届かないところに置いてください。
 - ・万一 幼児が飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。

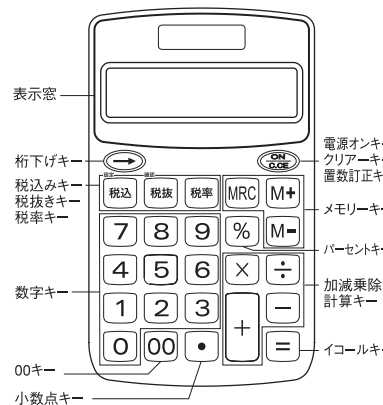
⚠ 注 意

- 電池について
以下のことは必ずお守りください。
 - ・極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れてください。
 - ・本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
- 液晶表示画面について
 - ・液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが壊れてけがの原因となる場合があります。
 - ・液晶表示画面が壊れた場合、内部の液体には触れないでください。皮膚の炎症の原因となる場合があります。
 - ・万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - ・目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

故障を防ぐためのご注意

- 計算機は精密な電子部品で構成されていますので、高温や低温の所、湿気やホコリの多い所での使用や保管および急激な温度変化や強いショックをさけてください。
- 計算機の操作は、表示窓を確認しながら確実にキーを押してください。
- 計算機は絶対に分解しないでください。
- お手入れは、シンナー・ベンジンなど揮発性の液体をさけ、乾いた柔らかい布か、中性洗剤液に浸し固くしぼった布でおふきください。
- 万一本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名前



各部の使い方

- 電源オンキー、クリアーキー、置数訂正キー
計算を始めるとき、メモリー以外をクリアーするときに押します。
- ①～⑨①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ 数字キー、小数点キー、00キー
これらのキーを使って計算機に数値を入れます。小数点の位置では $\div$ キーを押します。 $\div$ キーを押すだけで、0を2桁入力できます。
- $\pm$ $\div$ $\times$ $\div$ $\pm$ 加減乗除計算キー、イコールキー
たし算、ひき算、かけ算、わり算をするとき、計算式通りにそれぞれのキーを押します。 $\pm$ キーを押すと答が得られます。
- $\%$ パーセントキー
割合、割増、割引、比率などのパーセント計算のとき、加減乗除計算キーとあわせて使用します。
- $M+$ $M-$ MRC メモリーキー
(メモリープラスキー、メモリーマイナスキー、メモリーリコールクリアーキー)
メモリーを使うときに押します。 MRC キーを1回押しますと、メモリー内の数値を呼び出せます。 MRC キーを2回押しますと、メモリー内の数値をクリアーします。
- $\rightarrow$ 桁下げキー
置数の最後の数値を消したいときに押します。1回押すごとに1桁ずつ桁下げが行われます。
- 税込 税抜 税率 税込みキー、税抜きキー、税率キー
税込み、税抜きの計算ができます。

エラーチェック機能について

計算機が、桁オーバーなどで計算不能になりますと、“E”（エラー）を表示し、以後の計算ができなくなります。これをエラーチェック機能といい、次の場合になります。

1. 計算途中または答の整数部の桁数が12桁を超えたとき。
2. メモリー内の整数部が12桁を超えたとき。

エラーチェックは、 ON $\text{C}\cdot\text{CE}$ キーを押すと“E”（エラー）が消えて解除され、計算を続けることができます。

新たに計算を始めるときは、もう一度 ON $\text{C}\cdot\text{CE}$ キーを押します。

リセットスイッチの使い方

- $\bullet$ RESET リセットスイッチ（本体裏面にあります）
ICが静電気等で操作を受け付けなくなったときに、先の細い物で押してください。

計算の仕方 1

計算を始める前に ON $\text{C}\cdot\text{CE}$ キーを押してください。

	例 題	操 作	表 示 窓
加減乗除計算	$53+123-63=$	$53 \text{ } \text{+} \text{ } 123 \text{ } \text{-} \text{ } 63 \text{ } \text{=}$	113.
	$963 \times (23-56) =$	$23 \text{ } \text{-} \text{ } 56 \text{ } \text{ } \times \text{ } 963 \text{ } \text{=}$	—31'779.
	$(56 \times 3 - 89) \div 5.2 + 63 =$	$56 \text{ } \text{ } \times \text{ } 3 \text{ } \text{-} \text{ } 89 \text{ } \text{ } \div \text{ } 5.2 \text{ } \text{+} \text{ } 63 \text{ } \text{=}$	78.1923076923
	$1,234,560 \times 7,418,520 =$	$1,234,560 \text{ } \text{ } \times \text{ } 7,418,520 \text{ } \text{=}$	E 9.15860805120
	エラー解除をします。	ON $\text{C}\cdot\text{CE}$ ON $\text{C}\cdot\text{CE}$	0.
定数計算	$2 \times 3 - 1 =$	$2 \text{ } \text{ } \times \text{ } 3 \text{ } \text{-} \text{ } 1 \text{ } \text{=}$	5.
	$273 + 572 = 845$	$273 \text{ } \text{+} \text{ } 572 \text{ } \text{=}$ 加数 (+572) が定数となります。	845.
	$768 + 572 = 1,340$	$768 \text{ } \text{+} \text{ } \text{=}$	1'340.
	$576 - 184 = 392$	$576 \text{ } \text{-} \text{ } 184 \text{ } \text{=}$	392.
	$323 - 184 = 139$	$323 \text{ } \text{-} \text{ } \text{=}$ 減数 (-184) が定数となります。	139.
	$294 \times 8.4 = 2,469.6$	$294 \text{ } \text{ } \times \text{ } 8.4 \text{ } \text{=}$	2'469.6
	$294 \times 6.6 = 1,940.4$	$6.6 \text{ } \text{ } \times \text{ } \text{=}$ 被乗数 (294) が定数となります。	1'940.4
	$90 \div 3 = 30$	$90 \text{ } \text{ } \div \text{ } 3 \text{ } \text{=}$	30.
	$36 \div 3 = 12$	$36 \text{ } \text{ } \div \text{ } \text{=}$ 除数 ($\div 3$) が定数となります。	12.